平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	294		
事務事業名	社会教育運営事務	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		第２次飯田市教育振興基本計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	1　社会教育関係団体 2　愛宕蔵
	意図	1　活動を支援する 2　維持・管理する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・教育委員会への共催・後援申請件数が年々増加しているなかで、適正に許可する必要があります。 ・共催・後援事業実施後の実施報告を速やかに行うよう徹底を図る必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	社会教育委員会議を年３回開催し、飯田市の社会教育について協議します。 教育功労者の審査、決定、表彰を行います。 教育活動への支援として、教育委員会への後援又は共催依頼について審査・決定します。 飯田市連合婦人会の教育活動を支援します。 飯田ユネスコ協会の活動を支援します。 愛宕蔵を維持・管理します。	社会教育委員活動経費	299
		教育功労者表彰経費	121
		愛宕蔵の維持・管理費	1,195
		社会教育運営事務経費	1,052
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	社会教育委員会議の開催数	回	3			
	教育功労者表彰受賞者数	件	15			
	共催・後援許可数	回	250			
	婦人会活動支援数	回	4			
	ユネスコ協会活動支援数	回	3			
	愛宕蔵鍵貸出回数	回	10			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	2,667	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,667	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	1	2,667 0	社会教育一般経費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 294　事業名 社会教育運営事務　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	296		
事務事業名	科学実験教室推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	H11	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小、中学校（児童、生徒及び教員）、市民（親、地域の役員等）
	意図	児童、生徒が科学の楽しさや不思議さを学び、興味を持ってもらう。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・現在、増加傾向にある小中学校の授業やクラブ等への出前方式の支援事業についても、将来的には、実験道具の貸出や材料の提供により、各小中学校で教員を中心とした活動になるような働きかけの必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	科学ボランティアグループ「南信州飯田おもしろ科学工房」の活動を支援し、児童、生徒、市民に科学のおもしろさや不思議さを体験してもらうため科学実験教室を開催します。また、理科実験ミュージアムを開催し、親子に科学実験の機会を提供します。出前工房（出前方式の科学実験教室）や科学実験講座を通じて学校、地域へ理科実験を広げ、科学に関する興味や関心を高めます。一連の活動に対して飯田出身のサイエンスプロデューサー後藤道夫先生の指導、助言を受け充実した活動になるようにしていきます。また関係団体との連携も図っていきます。	理科実験ミュージアム運営事業補助金	1,050
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	理科実験ミュージアム参加者数	人	2,000			
	出前工房、科学実験教室参加者数	人	4,000			
	支援事業参加者数	人	1,000			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,050	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,050	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	4	1,050 / 0	科学実験教室推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 296　事業名 科学実験教室推進事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
科学実験教室の開催	○			○	－	○	○	○	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
様々な学びを通じて子供達が環境に関心を持ち、保全意識が高まる。						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	297		
事務事業名	社会教育推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
			4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	①家庭 ②小・中・高校生及び一般　③「地域振興の知の拠点」について
	意図	①家族が共に時間を過ごし、相互に成長することで生きる力を育む。 ②明るい社会を維持する。心豊かな人間性を育む。　　③構想を策定する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・都市型の社会環境へと変化するなか、家族が共に過ごす時間を持ち、成長し合うことで、家庭の教育力の向上、子供の自己肯定感、生きる力を引き続き育むことが必要です。 ・過去の歴史や様々な文化に触れながら世界の情勢を学習し、これからの飯田、世界を考える力を養うことが必要です。

29年度取組

取組内容

家庭、学校、地域へ「わが家の結いタイム」を普及・啓発し、家庭教育の意識の向上を図ります。
　人権意識の醸成と人権問題に対する正しい理解を広めるため、関係機関と連携して多様な機会を通じた啓発活動を行うとともに、学校、地域と共に人権教育を推進します。
　平和の尊さを認識し合い、平和な社会を維持するため、地域に残る歴史資料や戦争体験談に触れることができる平和祈念館資料室を開館します。また、中学校が行う平和学習への支援を行います。
　青少年健全育成事業として飯田市の児童と伊勢市との児童による小学生交流を実施します。
　青少年育成センター事業として市内巡回活動等を行います。

経費の内容	事業費(千円)
人権教育推進事業	169
平和学習推進事業	131
家庭教育推進事業	388
青少年健全育成事業	1,125
青少年育成センター事業	418
その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
「わが家の結いタイム」啓発活動の回数	回	20			
人権学習講座数	回	21			
満蒙記念館を活用した平和学習実施校数	校	5			
伊勢市の交流を行った児童数	人	24			
青少年健全育成に関する巡回・啓発回数	回	5			
「地域振興の知の拠点」計画策定	式	1			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	2,231
国庫支出金	0
県支出金	50
地方債	0
その他	3
一般財源	2,178

特定財源内訳及び補足事項

（県）人権教育促進事業補助金（１／２）
（そ）諸収入

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	10	5	169 0	人権教育推進事業費
2	1	10	5	1	10	6	131 0	平和学習推進事業費
3	1	10	5	1	10	7	388 0	家庭教育推進事業費
4	1	10	5	2	10	1	1,125 0	青少年健全育成事業費
5	1	10	5	2	10	2	418 0	青少年育成センター事業費
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 297　事業名 社会教育推進事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	298		
事務事業名	地育力向上推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	小中学生
	意図	ふるさと飯田とのつながりを知り誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点・素養を持つ人材を育成する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・10年後にリニアが開業し、人・物・情報や様々な文化や価値観の流入による地域の変化が予測される中で、失ってはならない地域の価値を皆が認識している必要があります。 ・グローバル社会の中で生きるために必要な力（コミュニケーション能力、協調性等）を身につけるとともに、多角的な視野を持ち活躍する人材の育成が必要です。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	小中学生を対象に、地育力を活用した地域の価値を理解する学び、グローバルな視野を育む学び、生きる力を身につける学びを展開します。 1　LG（地域・地球）飯田こども未来事業 2　キャリア教育推進事業 3　地育力向上連携システム推進事業 4　研究機関ネットワーク構築事業	地育力向上連携システム推進事業	2,519
		キャリア教育推進事業	649
		LG（地域・地球）飯田こども未来事業	3,397
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	LG（地域・地球）飯田こども未来事業の実施校数	校	28			
	宿泊体験実施数	件	8			
	職場体験を受け入れる事業所数	所	300			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	6,565	（そ）農家に泊まろう参加負担金 32千円 （そ）結いキャリアアップ体験講座参加負担金 30千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	62	
	一般財源	6,503	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	14	1	2,519 / 0	地育力向上連携システム推進事業費
2	1	10	5	1	14	4	649 / 0	キャリア教育推進事業費
3	1	10	5	1	14	5	3,397 / 0	LG（地域・地球）飯田こども未来事業費
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 298　事業名 地育力向上推進事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
農業宿泊体験の実施	○			○	－	－	○	○	○					
地育力通信の発行	○			－	－	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
児童への学習を通じて自然や環境等を大切にする心が育まれる。						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	299		
事務事業名	宇宙教育推進事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	H28	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	2	飯田市への人の流れをつくる
			3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画		第２次飯田市教育振興基本計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	①小学生 ②飯田市教育
	意図	①知的好奇心を育む。宇宙や地球環境の学びを通じてグローバル化に対応できる人材を育む。 ②特色ある独自の教育として確立する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・宇宙留学サマーキャンプ2016を通して、宇宙教育に関する学習だけでなく、集団での共同生活におけるコミュニケーション能力等の向上がみられるとともに、遠山郷の自然や資産にふれる機会に繋がりました。今後さらにプログラムを充実させ、特色ある飯田市教育として確立していく必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	遠山郷において小学５～６年生を対象とした宇宙教育に関する２泊３日の集中講義を開催します。開催にあたっては、宇宙航空研究開発機構（ＪＡＸＡ）や地元民間企業、市内社会教育関係団体等との連携を図っていきます。都市圏の小学生の参加を募り、市内参加児童や開催地区との交流も行います。	宇宙留学サマーキャンプ	900
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	宇宙留学サマーキャンプ開催	回	1			
	宇宙留学サマーキャンプ参加者	人	35			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	900	（県）地域発元気づくり支援金（３／４） （そ）サマーキャンプ受講者負担金
	国庫支出金	0	
	県支出金	416	
	地方債	0	
	その他	345	
	一般財源	139	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	14	6	900 0	宇宙教育推進事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 299　事業名 宇宙教育推進事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
宇宙留学サマーキャンプの開催	○			○	－	○	○	○	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
宇宙や地球環境の学びを通じて、自然や資源、命の大切さを認識する。						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	300		
事務事業名	公民館等耐震化整備事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画	○		第２次飯田市教育振興基本計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	上郷公民館
	意図	安全性を確保する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・約１００台分の駐車スペースの確保が必要です。 ・現地改築のため、工事期間中の公民館利用団体の活動の場の確保の必要です。 ・計画が具体化することから、関係者との円滑な調整が必要です。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
上郷公民館拡幅用地の取得を進めます。 市道上郷21号線（上郷小学校前）の拡幅を６月頃を予定に開始します。 上郷公民館の解体工事を10月頃を予定に開始します。 建設に向けた地元協議を必要に応じて随時行います。	上郷公民館・自治振興センター解体工事	130,993
	廃棄物処理	1,400
	市道上郷21号線改良工事	29,000
	用地買収・移転補償	143,800
	監理業務・登記委託	6,400
	その他の経費	723

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
解体工事の実施箇所数	件	1			
道路の改良箇所数	件	1			
用地の取得数	件	8			
協議の回数	回	4			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	312,316	（地）合併特例事業債（充当率95%） （そ）庁舎建設基金繰入金
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	294,300	
その他	18,016	
一般財源	0	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	1	20	1	312,316 / 0	公民館等耐震化整備事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 300　事業名 公民館等耐震化整備事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の適正な処理・管理	○	○
廃棄物の管理	○			×	×	―	―	―	×					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	301		
事務事業名	文化財保護事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画			
	法令・例規等		文化財保護法・長野県文化財保護条例	
			飯田市文化財保護条例・飯田市文化財保護事業補助金交付要綱	
			文化財関連施設の設置条例	

事業目的		
	対象	指定文化財、文化財関連施設、地域資産（地域にある自然・文化・歴史）、遠山の霜月祭（上村・南信濃）
	意図	指定文化財及び文化財関連施設の適切な保存・維持管理、地域資産の価値の顕在化及び文化財指定、遠山の霜月祭の技術の継承・向上と後継者の育成への補助

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・考古資料館等の文化財関連施設は、公共施設マネージメントの取組で、今後のあり方の検討が必要です。 ・緊急に保護すべき、または重点的に活用すべき文化財を明らかにし、計画的な文化財指定が必要です。 ・人口の減少と高齢化、生活様式の変化等により、祭を行うことや後継者の育成が困難な集落が増えています。地域の祭事であることを踏まえ、地域による後継者育成を財政面から支援します。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・文化財関連施設の適切な維持管理に努めます。 旧小笠原家書院・小笠原資料館、考古資料館、旧座光寺麻績学校校舎、北田遺跡公園、上郷歴史民俗資料館 ・指定文化財の保存と活用を進めます。 文化財パトロール、公式サイトでの情報発信等 ・文化財候補物件の調査及び指定を進めます。 指定候補物件の調査、文化財審議委員会への諮問、長野県・文化庁へ指定申請、飯田市での指定 ・文化財保護事業補助金の交付をします。 ・遠山の霜月祭への補助を行います。	文化財管理運営事業	15,743
		文化財資産化事業	230
		文化財保護事業補助金	1,904
		霜月祭保存会補助金	560
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	旧小笠原家書院・小笠原資料館入館者数	人	1,500			
	飯田市考古資料館入館者数	人	500			
	文化財施設、指定文化財等の情報発信	回	30			
	文化財審議委員会の開催	回	3			
	遠山霜月祭保存団体への支援	千円	560			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	18,437	（そ）考古資料館観覧料　100千円 （そ）諸収入　152千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	252	
	一般財源	18,185	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	1	15,973 / 0	文化財管理事業費
2	1	10	5	3	10	3	2,464 / 0	文化財保護事業補助金
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 301　事業名 文化財保護事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―		廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産廃保管施設における廃棄物の適正な保管（分別の徹底、飛散・拡散・流出・浸透）	○	○
産業廃棄物置き場の管理	○			×	×	―	―	―	―		産業廃棄物保管場所の表示（60×60㎝）		○	○
灯油の消費	○			×	―	×	―	×	―					
ガスの消費	○			×	―	×	―	×	―					
電気の消費	○			×	―	×	―	×	―					
水の消費	○			×	―	―	×	×	―					
利用者のアイドリングストップ	○			○	○	○	―	○	―					
利用者への環境意識啓発	○			○	○	○	○	○	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
・廃棄物の分別が不十分になるリスクがある。						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	302		
事務事業名	菱田春草生誕地整備活用事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	H25	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○		菱田春草生誕地の整備及び活用に関するパートナーシップ協定

事業目的		
	対象	春草生誕地
	意図	春草顕彰の拠点として整備活用する

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・　「春草公園を愛する会」と連携し、公園の存在を広く周知すると共に、公園のみならず、周辺一帯を含めた活用策を検討する必要があります。 ・春草作品に即した公園樹木を植栽していますが、公園の立地上生育に適さない樹種もあり、今後樹種の変更又は移植を検討する必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	パートナーシップ協定に基づき、公園の管理活用を担う「春草公園を愛する会」の活動を支援します。 　公園を含む仲ノ町から馬場町一帯は、飯田大火を免れて旧飯田町の風情を残す歴史的建装物が集積しています。 　これらを「橋北まるごと博物館」として、中心市街地の魅力を高める観光資源としての活用を図ります。	施設管理業務委託料	738
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
			計画			
	活用事業数（行政以外の主催含む）	数/年度	2			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	738	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	738	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	10	8	738 0	菱田春草生誕地整備活用事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 302　事業名 菱田春草生誕地整備活用事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	303		
会計	一般会計				
事務事業名	埋蔵文化財調査事業	事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			
	法令・例規等	○	文化財保護法	

事業目的		
	対象	埋蔵文化財包蔵地
	意図	国・県・市及び民間事業者の土木工事等において、十分な保護措置を講じます。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・埋蔵文化財をより確実に保存するため、保護措置の必要性を今以上に周知していく必要があります。 ・調査にあたっても、現地見学会の開催等により、埋蔵文化財包蔵地の存在と価値を公開活用する必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	簡易圃場整備や個人住宅の建設、民間開発に伴う発掘調査や調査後の報告書作成を行い、遺跡を記録保存します（中羽場遺跡、下り松遺跡）。 国・県・市の公共事業等に伴う発掘調査や調査後の報告書作成を行い、遺跡を記録保存します（前の原遺跡、並松遺跡、上の城窯跡、萩の平窯跡、龍江狐塚遺跡、高松原遺跡、馬出し遺跡、知久平城跡　飯田城下町、寺所遺跡）。	圃場整備等に係る調査経費	3,700
		県事業に係る調査経費	988
		市事業に係る調査・整理経費	23,583
		民間開発に係る整理経費	1,430
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	記録保存された埋蔵文化財包蔵地	数/年度	22			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	29,701	（国）埋蔵文化財緊急調査費国庫補助金（埋文発掘）（1/2） （県）文化財保護委託金（埋文発掘） （そ）埋蔵文化財調査受託事業収入
	国庫支出金	1,850	
	県支出金	988	
	地方債	0	
	その他	17,728	
	一般財源	9,135	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	1	3,700 / 0	埋蔵文化財調査事業費（補助）
2	1	10	5	3	12	1	7,285 / 0	埋蔵文化財調査事業費（単独）
3	1	10	5	3	13	2	988 / 0	埋蔵文化財調査事業費（県）
4	1	10	5	3	13	3	17,728 / 0	埋蔵文化財調査事業費（その他）
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 303　事業名 埋蔵文化財調査事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					
歴史的遺産の調査・保存	○			○	―	○	○○	―	○					
重機・発電機の使用	○			×	―	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	304		
事務事業名	飯田古墳群保存活用事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	H20	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
			3	地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む
	分野別計画			
	法令・例規等		文化財保護法	
			長野県文化財保護条例	
			飯田市文化財保護条例	

事業目的		
	対象	国史跡指定された古墳等、保存活用すべきとした古墳
	意図	全国に誇れる地域資産として後世に伝えていくとともに、人づくり・まちづくりに活かす

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	平成28年10月3日に「飯田古墳群」として、11基の前方後円墳と2基の帆立貝形古墳が国史跡に指定されました。平成29年度以降は、古墳の保存管理や活用方針を定めた保存活用計画を策定をする必要があります。また、史跡としての価値を広く周知するために情報発信をする必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	史跡飯田古墳群保存活用計画策定のため、外部専門家及び地域で古墳の保護活動を担う団体の代表からなる専門委員会を開催します。 飯田市美術博物館と連携して、国史跡指定を記念した展示・講演会等の情報発信を行います。 飯田古墳群の調査研究を継続的に実施し、価値付けが不十分な古墳については範囲確認調査を実施し、追加指定に向けた取組みを行います。	史跡専門委員会開催に係る経費	256
		保存活用計画策定に必要な測量図作成	3,994
		範囲確認調査等に係る経費	2,400
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	範囲確認調査を実施した古墳	基	1			
	地域との連携による保護活動等の実施	回	20			
	市内外への情報発信	回	5			
	史跡専門委員会の開催数	回	4			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	6,650	(国)国宝重要文化財等保存整備費補助金（1/2）　1,200千円 (国)史跡等保存活用計画等策定事業補助金(1/2)　2,125千円
	国庫支出金	3,325	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,325	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	11	3	6,650 / 0	飯田古墳群保存活用事業費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 304　事業名 飯田古墳群保存活用事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					
保存目的調査	○			―	―	―	○	―	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	305		
事務事業名	恒川遺跡群保存活用事業	会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	H13	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	4	自然と歴史を守り活かし伝え、新たな文化をつくりだす
	分野別計画		史跡恒川官衙遺跡保存活用計画	
	法令・例規等		文化財保護法	
			長野県文化財保護条例	
			飯田市文化財保護条例	

事業目的		
	対象	国史跡指定地を含む恒川遺跡群
	意図	調査・研究して遺跡の実態を解明します。また、史跡指定地の公有地化の促進や整備基本計画の策定により、遺跡を適正に保存して活用します。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	平成28年度に史跡整備の基本となる整備基本計画を策定するための史跡専門委員会を立ち上げたが、29年度までの2ヶ年(7回の委員会開催)で計画を完成させる必要があります。また、史跡整備に必要な情報を得るための保存目的調査や指定地の公有地化を計画的に進める必要があります。

29年度取組

取組内容

・史跡専門委員会を4回開催して整備基本計画を策定し、「恒川清水」の基本設計の準備に入ります。
・調査計画に基づく保存目的調査を実施し、整備のための基礎データの集積を図ります。

・史跡指定地の公有地化を進めます。
・個人住宅及び民間開発に伴う確認調査を実施します。

経費の内容	事業費(千円)
整備基本計画等策定経費	3,120
保存目的調査・緊急調査費	13,700
緊急発掘調査費	3,600
用地取得費	198,902
その他の経費	0

活動指標

指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
史跡専門委員会の開催数	回	4			
保存目的調査実施個所	箇所	5			
公有地化面積	㎡	6471.64			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費 計	219,322	(国)国宝重要文化財等保存整備費補助金(1/2)8,410千円 (国)国宝重要文化財等保存整備費補助金(4/5)159,121千円
国庫支出金	167,531	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	51,791	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	3	14	1	215,722 / 0	恒川遺跡群保存活用事業費(補助)
2	1	10	5	3	14	2	3,600 / 0	恒川遺跡群保存活用事業費(単独)
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 305　事業名 恒川遺跡群保存活用事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
史跡の保存目的調査	○			－	－	－	○	－	○					
史跡の公園整備	○			－	－	○	○	－	○					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	340		
事務事業名	スポーツ推進事務	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画
		○		飯田市スポーツ推進計画
	法令・例規等			スポーツ基本法
				飯田市スポーツ推進委員設置規則
				飯田市スポーツ推進審議会条例

事業目的		
	対象	市民
	意図	・スポーツ推進委員の活動を通じて、市民スポーツの振興を図る。 ・各種スポーツ大会の他団体との共同開催や開催協力を行う。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・ニュースポーツフェスティバルの開催などにより、各地区でもニュースポーツが浸透してきているので、愛好者の自主運営による大会の開催や、新たなニュースポーツ種目振興への移行などの検討が必要です。

29年度取組

取組内容	経費の内容	事業費(千円)
・スポーツ推進委員協議会の定例会・各委員会を開催します。 ・ニュースポーツの普及大会を開催します。 ・スポーツ推進委員の指導力向上に向けた実践機会を増やします。 ・体育担当課長主任者会議に参加します。 ・Ｂ＆Ｇ海洋センター会議に参加します。 ・スポーツ推進審議会を開催します。 ・日本マーチングリーグ関連連盟会議へ出席します。 ・中央道沿線都市親善スポーツ大会を開催します。 ・県縦断駅伝競走大会飯伊チームを後援します。 ・県内市町村対抗駅伝競走大会に飯田市チームとして参加します。	スポーツ推進委員活動事業	1,577
	保健体育運営事業	1,011
	保健体育事業	466
	その他の経費	0

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
スポーツ推進委員の企画運営した大会数	大会	2			
スポーツ推進委員の活動回数（全市会議、研修・講習会指導）	回	90			
スポーツ推進審議会開催回数	回	3			
保健体育事業関連の大会数	大会	14			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
事業費　計	3,054	
国庫支出金	0	
県支出金	0	
地方債	0	
その他	0	
一般財源	3,054	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	10	1	2,588 0	スポーツ一般経費
2	1	10	6	1	11	1	466 0	スポーツ事業費
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 340　事業名 スポーツ推進事務　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
大会・講座・教室の開催	○			○	×	○	－	○	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
ウォーキングコースや体育施設など、スポーツに親しむ人たちがスポーツ環境を大切に維持管理していく心が育まれる。						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	341		
事務事業名	スポーツ事業	会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始		終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画
		○		飯田市スポーツ推進計画
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	市民
	意図	・スポーツイベントの開催により、スポーツ習慣のきっかけづくりをする。 ・スポーツを通じて地域住民の交流と一体感・活力の醸成をする。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	・子どもの体力・運動能力が低下傾向にあります。 ・青壮年世代の習慣的な運動実施率が低く、各種ウォーキング関連事業の参加者も中高年世代が中心となっています。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・ウォーキング指導者の指導力向上に向けた、実践機会を開催します。 ・コオーディネーショントレーニング指導者講習会を実施します。 ・第３１回飯田やまびこマーチを開催します。 ・ウォーキングスタンプラリーの実施など、年間を通じてウオーキングの普及を図ります。 ・公益財団法人飯田市体育協会の運営を支援します。 ・第63回風越登山マラソン大会を開催します。 ・第33回信州飯田60歳以上ソフトボール大会を開催します。	生涯スポーツ推進事業	691
		やまびこマーチ開催事業	2,370
		飯田市体育協会運営支援事業	7,500
		風越登山マラソン大会事業	1,020
		６０歳以上ソフトボール大会開催事業	0
		ウォーキング普及推進事業	0
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	指導者養成講座・実践機会の実施回数	回	4			
	ニュースポーツ等の普及大会数(全市＋地区レベル)	大会	70			
	飯田やまびこマーチの市民参加者数	人	3,000			
	体育協会関係事業への参加者数	人	190,000			
	風越登山マラソン大会の市民参加者数	人	500			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	11,581	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	11,581	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	1	11	5	691 / 0	生涯スポーツ推進事業費
2	1	10	6	1	11	6	2,370 / 0	やまびこマーチ開催事業費
3	1	10	6	1	11	7	7,500 / 0	飯田市体育協会運営支援事業費
4	1	10	6	1	11	8	1,020 / 0	風越登山マラソン大会開催事業費
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 341　事業名 スポーツ事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－					
廃棄物の発生	○			×	×	×	×	－	－					
グリーン商品の購入	○			－	○	○	－	○	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況
自然豊かなウォーキングコースや、風越登山マラソンに使用する登山道など、地域の自然を愛し、環境を保全していく心が育まれる。						

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	342		
会計	一般会計				
事務事業名	体育施設維持管理事業	事業区分	経常	実施区分	単年度
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	S47	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		教育振興基本計画	
		○	スポーツ推進計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	社会体育施設（施設数：44）
	意図	利用者が安全で良好な環境で利用できるよう維持管理する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	スポーツ施設の利用目的について、市民のニーズが多様化してきているため各スポーツ施設の設置目的や利用状況により、効果的・効率的で利用しやすい管理運営を進めていきます。

29年度取組

取組内容

・社会体育施設及び県営飯田運動公園（野球場、多目的運動場、弓道場）を含め44施設が常に安全快適にで利用できるよう維持管理を行います。

・民間の持つ専門性やノウハウを活用し、利用者の利便性や安全性の向上、管理運営の効率化のため指定管理制度を導入し３年目に入ります。更なるサービスの向上に繋げ良好で適正な管理運営が行われるよう、指導監督を行っていきます。

経費の内容	事業費(千円)
体育施設管理経費	71,502
体育施設管理業務委託	54,927
体育施設借上経費	21,858
その他の経費	1,477

活動指標

指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
年間利用者数	人	500,000			
不具合の発生件数	件/年	30			
メンテナンス以外の施設の休止日	日数	0			

29年度予算

財源の状況(千円)	当初予算額
事業費　計	149,764
国庫支出金	0
県支出金	15,978
地方債	0
その他	18,350
一般財源	115,436

特定財源内訳及び補足事項

（県）飯田運動公園管理委託金
（そ）広域的体育施設使用料　9,702千円、地区体育施設使用料 766千円、飯田運動公園使用料　3,528千円、電話使用料　47千円、体育施設雑入 907千円、プール光熱費負担金　3,400千円

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	10	1	149,764 / 0	体育施設管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 342　事業名 体育施設維持管理事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		遊泳用プールの水質基準		○	○
産業廃棄物置き場の管理	○			×	×	－	－	－	－					
灯油の消費	○			×	－	×	－	×	－					
ガスの消費	○			×	－	×	－	×	－					
電気の消費	○			×	－	×	－	×	－					
水の消費	○			×	－	－	×	×	－					
利用者のアイドリングストップ	○			○	○	○	－	○	－					
利用者への環境意識啓発	○			○	○	○	○	○	－					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	343		
会計	一般会計				
事務事業名	体育施設整備事業	事業区分	政策	実施区分	単年度
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	S36	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		教育振興基本計画	
		○	スポーツ推進計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	施設数：（施設44）
	意図	安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	多くの施設、設備、備品、照明の老朽化が進んでおり、修理・修繕にかかる経費が増大する傾向があり、公共施設マネジメントに併せて計画策定と、将来的な施設配置について検討しながら改修、更新する必要があります。また洋式トイレが普及しているなか、体育施設トイレは和式が未だ主流となっており利用者からはストレスとなっています。プロの招待試合等でもトイレの洋式についての対応が必要であるため計画的な整備が必要です。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	・社会体育施設（体育館、武道館、弓道場、運動場、野球場、アクアパーク、市民プール、B&G海洋センター、テニスコート、研修センター等）の改修、備品の修繕、設置等を実施します。	上村弓道場解体工事	3,496
		アクアパーク流水ﾌﾟｰﾙ・ﾌｧﾐﾘｰﾌﾟｰﾙ施設修繕	4,700
		体育施設トイレリメイク事業	1,800
		その他の経費	2,845

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	12,841	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	12,841	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	2	11	3	12,841 / 0	体育施設改修費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 343　事業名 体育施設整備事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		水銀に関する水俣条約	電池、化粧品や血圧計など水銀を含む9種類の製品の製造・輸出・輸入を2021年以降禁止に向けた対応	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	344		
会計	一般会計				
事務事業名	社会体育学校開放事業	事業区分	政策	実施区分	単年度
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	S51	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		教育振興基本計画	
		○	スポーツ推進計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	学校開放施設（体育館・校庭・武道場）の数：（施設56）
	意図	安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	施設の状態を良好に管理・維持するよう努めます。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	地域の学校体育施設を地域に開放するための経費でモップリース代、電気代、消耗品など学校体育施設を地域に開放するためのコストを負担します。 人口規模の大きい地区においては、学校開放運営委員会を組織して、定期的な会議を開催して、利用調整と施設の適正管理を図ります。	社会体育学校開放施設管理経費	9,943
		その他の経費	722

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	10,665	（そ）社会体育学校開放施設使用料　317千円
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	317	
	一般財源	10,348	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	3	10	3	10,665 / 0	社会体育学校開放管理費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 344　事業名 社会体育学校開放事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			―	×	×	―	×	―					
電気の消費	○			×	―	×	―	×	―					

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況

平成29年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	49	事業No.	345		
会計	一般会計				
事務事業名	社会体育学校開放施設整備事業	事業区分	政策	実施区分	単年度
担当課等名	生涯学習・スポーツ課	開始	S36	終了	

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画		教育振興基本計画	
		○	スポーツ推進計画	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	学校開放施設（体育館・校庭・武道場）の数：（施設56）
	意図	安全で良好な環境で利用できるよう施設整備する。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	社会体育の利用に支障がでないよう施設の良好な維持管理をする必要があります。

29年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	学校の体育施設を、学校教育に支障がない範囲で、社会体育の利用のために市民に開放し、スポーツの振興を図ります。そのための照明機器の整備を行い、施設の充実を図ります。	照明修繕	1,183
		その他の経費	73

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度	平成31年度	平成32年度
	不具合の発生による施設の休止日数	日	0			

29年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	1,256	
	国庫支出金	0	
	県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,256	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	6	3	11	2	1,256 / 0	社会体育学校開放施設整備費
2								
3								
4								
5								
6								
7								

(環境ISO管理)

事業No. 345　事業名 社会体育学校開放施設整備事業　　生涯学習・スポーツ課

環境側面	常時	非常時	緊急	評価1	評価2	評価3	評価4	評価5	評価6	著しい	法令順守	要求事項	中間	年間
一般事務	○			－	×	×	－	×	－		水銀に関する水俣条約	電池、化粧品や血圧計など水銀を含む9種類の製品の製造・輸出・輸入を2021年以降禁止に向けた対応	○	○

リスク・機会	環境目標 ①実施事項 ②達成期限（いつまでに） ③結果の評価方法（どのような水準で）	環境目標達成のための手段・方法・手順	中間評価		年間評価	
			進捗状況・成果	達成状況	進捗状況・成果	達成状況